

令和3年度第1回江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会会議録（要点筆記）

日 時：令和3年8月4日（水） 10:00～11:50

場 所：ココルクえべつ内特別養護老人ホーム『日本介護江別』1階会議室

出席委員：川上誠一委員、金子正美委員、小林孝広委員、新田雅子委員、
尾形良子委員、藤本直樹委員、小田島和平委員、田原久美子委員、
森田弘之委員、大川尚委員、腰原久郎委員、中井和夫委員、
三ツ井瑞恵委員、菅井美恵子委員（計14名）

欠席委員：岸本佳廣委員（計1名）

事務局：企画政策部近藤次長、健康福祉部伊藤次長、政策推進課堂前課長、
中住主査、鈴木主査、山口主任

その他：ココルクえべつ事務局明石コーディネーター、
高橋サブコーディネーター

傍聴者：0名

会議概要

1 開会

2 議事

（1）ココルクえべつの施設整備状況について

小林委員から説明

- ・資料1 江別市生涯活躍のまちココルクえべつ 施設の整備状況
（工事の進捗）について

【質疑】

○中井委員

通所リハビリの詳細について詳しく知りたい。

○小林委員

介護老人保健施設についてはリハビリに力を入れていきたいと考えている。
通所リハビリについては、午前、午後の各3時間10分の通所を予定して
いる。通常のデイサービスは、食事と入浴がついて1日中滞在するという所
が多いと思うが、本施設は食事と入浴がない、リハビリに特化した施設とす
ることを考えている。

こちらには特別養護老人ホームと介護老人保健施設があり、それぞれの役
割が重複しないよう考えている。

○会長

他に質問、意見はないか。

○各委員

(なし)

(2) 地域交流事業等の実施状況について

事務局から説明

・資料2 令和3年度地域交流事業等の実施状況

【質疑】

○金子委員

ボランティア登録については、募集中ということで理解してよいか。

私は、ボランティア論の授業を担当しており、ボランティアをしたいと考えている学生が多いため、登録を呼びかけようと考えている。

○小林委員

是非、お力をお借りしたい。ボランティアについては、コロナの影響で介護保健施設での活動には現在制限があるが、畑や芝生などの環境整備、サービス付き高齢者向け住宅の入居者との交流には力を入れていきたい。特に、サービス付き高齢者向け住宅の入居者は、元気な方が多いため、介護保健施設とは感染対策の方法が異なっており、地域の方との関わりに力を入れていきたいと考えている。

○金子委員

ホームページを見れば募集内容がわかるのか。

○ココルクえべつ事務局明石コーディネーター

7月末に自治会回覧にてボランティア募集の案内をお知らせした。

○金子委員

学生には自治会回覧は回っていないのではないか。

○会長

学生に向けた周知はどのようになっているか。

○事務局

今回配布したパンフレット『ココルクえべつでお待ちしています』の最後のページにボランティアの募集について掲載しており、このパンフレットは、広報の折込で市内全世帯に配布しているほか、市や事業者が発信する様々な情報ツールにおいてボランティアについてお知らせしている。

また、パンフレットの中でボランティアの活動内容を例示しており、現在この内容でココルクえべつ事務局で募集を行っているところである。大学生

については、自治会に加入している方が少ないことからパンフレットをご覧いただけていないのかもしれないが、今後もホームページやSNSなど様々な媒体を使って募集についてお知らせしていきたいと考えている。

○会長

多世代の交流・共生のまちづくりを目指しているため、様々な世代の方にボランティアに参加していただきたい。特に市内4大学の学生には呼び掛けていきたいと考えている。金子委員、新田委員、藤本委員、尾形委員にはぜひ力を貸していただきたい。

他に質問、意見はないか。

○藤本委員

随時イベントの開催については、コロナの感染拡大状況やワクチンの接種状況を踏まえて、開催時期は未定ということで理解した。また、随時イベントの案は昨年度のワークショップから出された意見を十分に反映した内容だということで承知した。

この中で、事務局として重点的に進めていきたいイベントなどがあれば教えてほしい。例えば、私のゼミの学生とコーディネーターの方々とが相談しながら開催や運営を進めていく仕組みを整えることを考えている。学生の力を借りたいというニーズがあれば教えてほしい。

○事務局

定例イベントと随時イベントは共に初めての試みであり、我々も現在、手探りで進めているところである。

大学との関わり合いという点においては、3月の本協議会においてもご意見をいただいたところである。

現在、えべつ未来づくりプラットフォームのメンバーの方々にコルクえべつを見ていただき、大学とどういった関わり方ができるかを相談させていただいているところである。

プラットフォームでの流れも踏まえつつ、定例イベントと随時イベントの開催の詳細を決定する中で、大学との具体的な関わり方について検討を進めてまいりたい。

○会長

本協議会に参画されている4大学の先生方にはご協力をお願いしたい。また、大学とより密接に関われるイベントについては色々と考えられると思うので、事務局は本協議会と随時情報共有しながら進めてほしい。

他に質問、意見はないか。

○新田委員

現在の学生の中でのコロナウイルス感染状況を考えると、学生をすぐに送

り出すということとはできないと考える。特に若い世代の感染状況は全く予断を許さない状況であるので、くれぐれも慎重に考えていただきたい。

また、ジモガクの事業でボランティアを募集するというシステムがすでに行われているので、ぜひこの事業とジモガクとが連携して、イベントごとにボランティアの募集を行っていけばよいのではないかと思う。

○会長

コロナ感染対策とのバランスを取りながら進めていくよう、事務局にお願いしたい。

他に質問、意見はないか。

○中井委員

自治会からも施設見学会の案内が来た。地域交流事業の一環として、自治会の見学会は実際に実現したのかお聞きしたい。

また、ボランティアの募集には高齢者クラブ等への周知を行っているのか。

加えて、蒼樹大学や聚楽学園の学習機会としての活用してもらうのがよいのではないか。

○ココルクえべつ事務局

施設見学についてはまんまる新聞への折込として、江別市内の5万世帯へ配布した。7月中旬に開催した見学会には200人ほどの方に参加していただいた。その後ツイッターやフェイスブックでの周知を行い、もう一度見学会を実施している。

○事務局

蒼樹大学からは出前講座の依頼をいただいております、8月に出向く予定となっている。聚楽学園についても予定はしていたが、コロナの影響により中止となった。

今後もコロナの影響によって予定通り開催できるかどうか分からない状況ではあるが、蒼樹大学と聚楽学園とは関わりを持たせていただきたいと考えている。

3 その他

○事務局

次回の協議会は11月下旬から12月頃を予定している。改めて日程調整させていただきます。

4 施設現地見学

5 閉会